

## 外書講読（英）ワークシート（2）

1. ダリウスが金銀塊をインゴットの形で備蓄したことがどのような影響を経済に及ぼしたといっているのか。(p.14)
2. ペルシアの支配を西方へ拡大していく理由を何だと言っているのか。(p.15)
3. ダリウスはイオニアに対してどのような政策をとったのか。(p.15)
4. ペルシアの支配が拡大されるのを本土のギリシア人はどのように見ていたのか。(p.15)
5. アルクメオンは何を追及したのか。(p.16)
6. クレオメネスがペイストラトス家の追放を望んだのは何故か。(p.16)
7. アルクメオン家がパルネス山の砦を占拠したとき、庶民はどう行動したのか。(p.16)
8. アテネの農民の間にうんざりするような皮肉を生み出したのは何か。(p.17)
9. クレイステネスと対立した保守派はどのような選挙戦を始めたのか。(p.17)
10. 「民衆と手を組んだ」というヘロドトスの言葉は何を意味しているのか。(p.17)
11. スパルタがアテネに干渉して保守派からなる傀儡（かいらい）評議会を設立しようとした時、アテネ人はどのような行動を取ったのか。(p.18)
12. アテネの指導的な貴族の権力を打ち壊そうとすると同時に何をクレイステネスは意図していたのか。(p.18)
13. ヘロドトスの言葉に「独裁制のもとに抑圧されていた間は全ての隣国に劣り戦争で成功を収めることはなかったが、ひとたびくびきが投げ捨てられると」とあるが、それにどのような言葉が続いているのか。(p.18)
14. デマラトスはスパルタの何なのか。(p.19)
15. デマラトスがクセルクセスに語るスパルタ人が恐れる主人は何なのか。(p.19)

16. ヘロドトスはどのような点で賢明だったとっているのか。(p.19)
17. アルタフェルネスの要求を呑んだ使節を処罰したというエピソードは何を示しているのか。(p.19)
18. アテネがダリウスに提携を申し入れたという疑いの念が何を引き起こしたのか。(p.19)
19. スパルタ人の方向逆転とは何か。(p.20)
20. 「スパルタのジレンマは500年頃に部分的ではあるが解決された、そしてその時にダリウスは、十年に及ぶ快適な日和見の後、ヒippiアスの亡命政府を承認した。」にある「スパルタのジレンマ」とは何か。(p.20)
21. アリスタゴラスがアテネの民会でぶちまけた反ペルシア・プロパガンダとは何か。(pp.20-21)
22. 大王(ペルシア王のこと)が忘れることも許すこともできない公然たる侮辱とは何か。(p.21)
23. ヘロドトスは「神よ、アテネ人を罰するのを許したまえ」とダリウスが叫んだと記しているが、それはどのような行為をしながらだったのか。(p.21)
24. ミレトスの略奪がダリウスの報復のプレリュードにすぎなかったと著者は述べているが、それは何を意味しているのか。(p.22)
25. ダーダネルス海峡を扼するトラキアのケルソネソスの僭主となったミルティアデスの機能は何か。(p.22)
26. アテネに戻ってきたミルティアデスはアテネの民主派の目には何と映ったのか。(p.22)
27. 何故著者は貴族に属するヘロドトスの情報提供者を非難しなければならないとしているのか。(p.23)